

提出
順番

No.
3

平成 28 年 2 月 25 日
午前・午後 / 時 00 分受領

平成 28 年 2 月 25 日

幕別町議会議員 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 内山 美穂子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 忠類ナウマン象記念館について	<p>ナウマン象記念館は、ナウマンゾウの全身骨格の化石が世界で初めて旧忠類村晩成で発掘されたのを記念し、地域振興の中核を担って忠類に開館した施設です。大発見から半世紀近くが経ち、合併後もナウマンゾウはシンボルマークやカントリーサインなど多方面で町の顔として使われています。</p> <p>「化石発掘のまち」として全国に発信する中、町は「第5期総合計画」の中でナウマン象記念館周辺の観光振興を掲げ、来年度予算にナウマン公園大型遊具整備事業として1億4500万円の額を計上しました。公園の整備を機に、外見だけでなくおおもとなるナウマン象記念館の中身について見直す必要があると考えますが、以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">① 観光ゾーンの一角を担う記念館として、また地域の核としてどのような施設と位置づけ、どう活かしていく考えなのか② 専門的な知識を持つ人材を配置する考えは③ 町内の他の資料館との連携について④ 町文化財審議委員会などに外部の専門家に入ってもらい、その提言を積極的に活かす考えは⑤ ナウマンゾウと一緒に見つかった化石が絶滅した巨大ジカと判明したのを受け、再調査する考えは

<p>2. 町民の声を聞く町の姿勢について</p>	<p>町が目指すまちづくりの基本目標に、「ともに考えともに創る活力あるまちづくり」があります。</p> <p>これを実現するにはまず、自分の町に関心を持ってもらうことが大切です。ここで大きな役割を果たすのが広報紙といえます。町側からのお知らせに加えて、町民と町民、町民と行政を結ぶような対話型の内容を多く盛り込むことで、自分の町をより身近に感じてもらえるのではないかと考えます。距離が縮まらないことには、「ともに考える」という気運も拡がりません。</p> <p>さて、飯田町長は就任以来、様々な会合で町民に、「3人集まったら呼んで下さい」と発言しています。町民と直接対話し、その意見を町政に活かしたいという思いは共感できるものです。そこで、以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 少人数でも対応しようとした町長の考えは ② 出向いた件数、そこで出された意見を検討して対応したもの、実際に予算に入れたもの、実現させたものはあったか また、印象に残る提言などはあったか ③ 広報紙に「まちなか町長室」などというページを作り、対話の内容と回答を掲載することについて ④ 子どもたちも含めた町民が日常生活で感じたことを気軽に提案できる制度を新設する考えは ⑤ 「町民参加」の一つとして、新庁舎の中に総合案内窓口を設けて町民を交代で活用する考えは
---------------------------	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。